

【祭り: festival】

祭りといえば、神への感謝、祈願が目的のようですが、現代では楽しむための行事となり、神の存在は認めていないようです。では、聖書ではどのように書かれているのでしょうか。イスラエルの民の祭りで一番古いのは「過越の祭り」です。出エジプト記 12 章 14・17 節『14 この日は、あなたがたにとって記念となる。あなたがたはその日を主への祭りとして祝い、代々守るべき永遠の掟として、これを祝わなければならない。17 あなたがたは種なしパンの祭りを守りなさい。それは、まさにこの日に、わたしがあなたがたの軍団をエジプトの地から導き出したからである。あなたがたは永遠の掟として代々にわたって、この日を守らなければならない。』【14 So this day shall be to you a memorial; and you shall keep it as a feast to the Lord throughout your generations. You shall keep it as a feast by an everlasting ordinance. 17 So you shall observe the Feast of Unleavened Bread, for on this same day I will have brought your armies out of the land of Egypt. Therefore you shall observe this day throughout your generations as an everlasting ordinance.】この記念とは、どのような記念なのでしょう。まず、記念とは思い出すこと、忘れないようにすることです。それは、種を入れないパンを食べることによってです。過ぎ越しの祭りの翌日から 1 週間、種なしパンの祭りを行います。エジプト脱出の記念として守られています。種は悪や罪を示し、エジプトでは罪の奴隷であったが、そこから解放されたことを示します。これは旧約での出来事で、神の救いです。新約では「最後の晩餐」として知られているところです。ルカ 22 章 14~20 節『14 その時刻が来て、イエスは席に着かれ、使徒たちも一緒に座った。15 イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をするを、切に願っていました。16 あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をするのは、決してありません。」17 そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの間で分けて飲みなさい。18 あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」19 それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」20 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。』【14 When the hour had come, He sat down, and the twelve apostles with Him. 15 Then He said to them, “With fervent desire I have desired to eat this Passover with you before I suffer; 16 for I say to you, I will no longer eat of it until it is fulfilled in the kingdom of God.” 17 Then He took the cup, and gave thanks, and said, “Take this and divide it among yourselves; 18 for I say to you, I will not drink of the fruit of the vine until the kingdom of God comes.” 19 And He took bread, gave thanks and broke it, and gave it to them, saying, “This is My body which is given for you; do this in remembrance of Me.” 20 Likewise He also took the cup after supper, saying, “This cup is the new covenant in My blood, which is shed for you.】イエスご自身で、これは「過ぎ越しの食事」と言われました。旧約ではエジプトにおいて奴隷状態からの解放でした。しかし、新約では罪の奴隷からの解放です。神の目から見たならば、すべての人は罪の奴隷の状態だと言われます。ヨハネ 8 章 34 節『…まことに、まことに、あなたがたに言います。罪を行っている者はみな、罪の奴隷です。…』【… Most assuredly, I say to you, whoever commits sin is a slave of sin. …】イエス・キリストはその罪の奴隷から解放するために十字架に架されました。パンはイエスの体、杯はイエスの血を示します。イエスは十字架に架かれ、兵士の槍で突き刺され、血を流されました。その流された血による新しい契約であると言われます。旧約には多くの契約が出てきますが、新約ではイエス・キリストの血による新しい契約です。旧約では成就することのできなかつた契約であるが、成就したのはイエス・キリストの契約です。それはただ一度きりであり、2 回目はありません。パウロはこのことについて書き送っています。I コリント 11 章 26 節『ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。』【For as often as you eat this bread and drink this cup, you proclaim the Lord’s death till He comes.】パンと杯はキリスト者にとって不可欠です。イースターの日、または月に一度、毎週日曜日、集会(教会)によって違いますが、これらは行われます。それも主が来られるまで続きます。しかし、主が来られたら、キリスト者は永遠に存在する神の国に入ります。キリスト者はパンと杯を忘れることはありません。